



# STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース

## －介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！－

### 11月11日「介護の日」まであと4日 「全国一斉行動」を具体化しよう！

#### 介護ウェーブのうねりを「県民フォーラムinしまね」開催(島根) アピール「介護保険の改善のために大きなウェーブを起こそう」を採択！

島根県社保協主催で10月11日(土)2時から島根県民会館で開催されました。

基調講演は『介護保険の改悪に地域でどう立ち向かうか』と題して大阪社保協の日下部雅喜さんにご講演いただきました。日下部さんは09年度の改定の焦点を、「1. 介護報酬引き上げで介護労働者の賃金労働条件の改善」「2. 介護の取り上げを許さず介護保障の実現を」「3. 軽度者切捨てを許さない取り組みを」「4. 介護難民・医療難民を出させない取り組みを」の4点を上げ、わかりやすくお話されました。また、この間の後期高齢者医療制度をめぐる6ヶ月のたたかいを社会保障闘争史上初めてのたたかいで、高齢者の怒りが制度や政治を振り動かしたとし、「介護保険の改定」も大阪の介護保険料に怒る一揆の会のスローガン『たたかいくなくては老後の安心なし』のようにたたかうことを呼びかけられました。

介護現場からの報告として、3つの報告をしていただきました。島根総合福祉専門学校校長の西高広さんは一昨年より学生は定員割となってしまっているが、学校の教育目的と学生の成長の喜びを紹介し、行政や介護事業所と連絡会をつくり、学校を守る取り組みをしていることや、島根県内の介護福祉士の養成校の4校中の2校が来年停止される予定であるため、県やマスコミに対する要望について語りました。



しまね小規模ケア連絡会の事務局長を務めるあおぞら福祉会の森山史朗さんは、小規模多機能事業所の調査結果の紹介もしながら、実情を報告しました。国への提案として、介護報酬を管理費報酬と人件費報酬にわけることや国は社会保障の責任を地方や民間に転嫁すべきではないと訴えました。

松江の介護事業所連絡会・ヘルパー部会会長のあおぞら介護センターの矢上美恵子さんは、訪問介護で介護報酬が認められない具体的な事例を紹介しながら、介護現場の崩壊を回避するために人材の確保・介護報酬の見直し・制度運用上の見直しの必要性について報告しました。介護を受ける側からの報告をDVDで紹介しようと思っていたが時間不足で上映できませんでした。

アピール「介護保険の改善のために大きなウェーブを起こそう」を採択して閉会しました。

参加者は70名で介護事業所の職員は40名(うち民医連の事業所から7名)でした。案内チラシをみてと、社保協の構成団体以外からの参加が多い集会になりました。「良い集会だったのに参加がもっとあれば」「知らないことが多くあり、現場からの具体的な提言をもっとしてほしい」などの感想がよせられました。(島根民医連・介護福祉委員会FaxでニュースNo.05 2008.10.30より)



## 「福祉介護職員の確保・定着を考える共同集会」(大阪)

大阪民医連では、他団体と共同した「福祉介護職員の確保・定着を考える共同集会実行委員会」主催で、2008年12月11日(木)18:40～21:00に、共同集会を開催します。岸辺護氏(読売新聞大阪本社社会部記者)の講演、リレースピーチ、浜岡政好氏(佛教大学教授)のまとめ等の企画が行われます。

実行委員会には、「大阪学童保育連絡協議会」「大阪障害者センター」「おおさかヘルパー労組連絡会準備会」「大阪保育運動連絡会」「大阪民主医療機関連合会」「きょうされん大阪支部」「障害者(児)を守る全大阪連絡協議会」「社会福祉施設経営者同友会」「全国福祉保育労大阪地方本部」「総合社会福祉研究所」等が参加しています。

## 地域の事業所等にも呼びかけ学習会(福岡親仁会)

親仁会では、介護の日の取り組みとして、11月11日(火)18:00～20:00に、地域の事業等にも参加を呼びかけ、学習会を開催します。

「介護士の現状と課題」をテーマに、福岡県介護福祉士会副会長の大中智明氏の講演等の企画を行います。



昼は「ゆめタウン」で「宣伝・署名行動」と「福岡県との交渉」に職員は分かれて参加します。

## 介護改善を求める「長野県民集会」in安曇野(長野)

長野県民医連では、他団体と共同した「長野県民集会実行委員会」主催で、2008年12月7日(日)13:30～16:00に、県民集会を開催します。集会テーマは、「誰もが安心して介護が受けられる制度へ、介護職員が安心して働ける待遇を」。石田一紀氏(京都女子大学教授)の講演、参加者リレートーク等の企画が行われます。

## 第2回介護保険と介護労働を考えるつどい(神奈川)

神奈川民医連では、他団体や介護事業所と共同した「第2回介護保険と介護労働を考えるつどい実行委員会」主催で、2008年12月7日(日)13:00～16:30に、つどいを開催します。堀田聰子氏(東京大学社会科学研究所特任准教授・厚労省社会保障審議会専門委員)の講演「介護労働の実態と介護保険制度・報酬を巡る議論の到達点」、小島誉寿氏(神奈川県保健福祉部高齢福祉課副課長)の特別報告「かながわ高齢者保健福祉計画の改定について」等の企画が行われます。

## 「介護の日」学習会のお知らせ



「介護の日」について

厚生労働省においては、「介護の日」について課題と認識され、毎年11月11日を介護の日としている。介護の日は、介護の現状と課題を改めて見直すとともに、利用者、施設、介護職員等、社会各界が介護に対する理解を深め、問題への警戒と対応を図るため、毎年11月11日を「介護の日」として定められた。

■ 時 11月11日(火) 18:00開場

18:30開演 20:00終演

■ 場 所 大牟田文化会館 3階研修室

福岡県大牟田市大牟田2-1-2 Tel:0944-54-8313

■ テーマ 「介護の日現状と課題」

■ 講 師 大中 智明 氏(福岡県介護福祉士会副会長)

会場は、どなたでも、無料でご観覧いただけます。



お申込みお問い合わせ カレントカレ、看板宣伝活動を行ないます

福岡県介護福祉士会主催

会場は、どなたでも、無料でご観覧いただけます。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp